

お待たせいたしました！今年度の取材の様子をVOL.2より順次お届けします！
VOL.1では、今年度のGGKキーワードをお届けしました。「ウェルビーイング」ということについて、日ごろ意識はしていただいていますでしょうか？「ウェルビーイング」は、学校で働く教職員だけでなく、子どもたち、保護者の皆様、地域にとっても叶えられると良いですね。

「職場環境」・「コミュニケーションの質」が、
働きやすさ・働きがいにつながる。



大野市 小山小学校

会議の見直しと効率化により働きがいUPと授業・校務の質的向上

“目的重視”の研究の場
「学びサロン」

そこへ来て癒される、元気になる研究会(サロン)
→子どもたちへの還元



気軽な話し合いの場
「ちょいトーク」

会話・対話を重視して、
「親しみ」+「ゆるさ」を大事にしたトーク

「学年会」(職員会議議案の事前検討会←“会議のための会議”)を発展的解消

働きがいUP

20年ぶりに復活！「いふりっこ登山」

R5 子どもたちの学年・体力に応じたゴール設定で開催
R6 縦割り班で「全児童が頂上を目指す」形に見直し
先生のやりがい+子どもたちが伸びるきっかけ

ゆとり創出

毎週末・長期休業は
タブレット持ち帰り
宿題のデジタル化
増加傾向

子どもたちの主体性
につながる取組

●「早下校」の積極的な導入
⇒学びの効率化・授業の質向上
カリキュラムオーバーロードの見直し
⇒学期はじめ・年度末・学校公開日・保護者会前日・大きな行事後の早下校実現、教材研究や校内研修の時間確保

★前年比: 全学年20時間の授業削減

●月ごとの予定表の共通化

各学年の関係部分を見てもう形にすることで、
担任の予定表作成に係る負担を軽減

●PTAの連絡に学校連絡メールの活用

PTAの役員会や委員会の会議開催連絡、各種リマインドを
メール活用によりペーパーレス化

●「事務(26)の日」の実施

月末の少し前(26日ごろ)に”前もって”、”一斉に”事務的な入力、
確認作業を行う日を設定
事務効率化&事務作業の負担軽減

●学校公式instagramの運用

学校と保護者の双方がHappy-Happyになる情報発信を重視
日々の学校の様子を手軽に”知らせる”(学校)+”つかむ”(保護者)

●外部人材の積極的活用

様々な教育活動に外部人材を活用
専門性を活かしてもらうことで、教員の負担軽減へ
例)地域の踊り: 公民館へ依頼、農園ボランティア、
読み聞かせボランティア、各授業のゲストティーチャー
祖父母、JA、社協、民生委員など「地域との近さ」を活かす

“ふくい教育ミライ会議”を開催しました！



7月～8月にかけて、県内各所にて、
「ふくい教育ミライ会議」を開催しました。

6回に分けて、各地区の小・中学校から20代後半～30代の教諭7～8名
に集まっていただき、藤丸県教育長と対話する機会を持ちました。

県庁の中で少しずつ始まっている「fika(フィーカ)」というスタイルを取り
入れ、コーヒー等を飲みながらゆったりとした雰囲気で開催しました。
※フィーカは、甘いものと一緒に茶を楽しみ、
いろいろな人と会話をして時間を共有するスウェーデンの文化です。

「fika」を取り入れることで、立場や校種を越えて、自由に自身の意見や
想いを語る場を創出できました。実際の困り感や多忙感、仕事のやりがい
がリアルに語られ、共感し合い、活発であたたかい場になっていました。

教職員課instagramでも続々とその様子を紹介していますので、
楽しみにお待ちください！



フォローしていただい
ていますか？

ふくいで先生 魅力的やざ @kyousyoku.f



「教員業務支援員との協働の手引き」ご活用ください！

現在、県立学校では県が任用した「教員業務支援員」、市町の小・中学校では各
市町教育委員会が任用した「学校運営支援員」「スクール・サポート・スタッフ」の皆
さんにご活躍いただいています。

教員の様々な業務の中で、プリント印刷や回収物の集計、採点の補助、教材準備
のお手伝い、HP・ブログの更新など、様々な業務を助けていただくことで、児童・
生徒へ向き合う時間、教材研究の時間の捻出につながっています。

日ごろ、「もっと上手な業務の依頼の方法はないかな？」「協働していける工夫は
できないかな？」と感じている方は、一度文部科学省発行の手引きを参考にして
みてはいかがでしょうか。

「教員業務支援員との協働の手引き」(文部科学省ホームページ)

■編集後記■

今年度もなるべく多くの学校現場へ
お伺いし、GGKのヒントをお届けで
きればと思っています。

「掲載内容からヒントを得た」、「職員
室内のコミュニケーションのきっかけ
になった」というお話もうかがって
います。ありがとうございます！

「手に取りたいときにすぐ読める
GGKニュース」を引き続き目指してま
いりますので、よろしく願いいたし
ます！

